







6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生育旺盛期			伸長後期			登熟期	成熟期		
高培土		かん水				収穫			
高培土は梅雨明け後に行う 		梅雨明け直後から積極的にかん水しよう！ 農薬を使う際は、収穫前日数に注意して、適期防除を心がけよう！ かん水を行うと、さとうきびは1日3cm程度成長します。 				株出するときには、 収穫後1週間以内に施肥・管理する 			

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生育旺盛期			伸長後期			登熟期	成熟期		
高培土		かん水				収穫			
高培土は梅雨明け後に行う		梅雨明け直後から積極的にかん水しよう！  				更新予定なら、機械収穫で固くなった土をプラソイラ等で深耕する。 			
株出栽培は雑草との戦い									
<ul style="list-style-type: none"> ・雑草は小さいうちに防除することが、高単収への近道 ・高培土までの間は徹底的な雑草防除を心がけよう。 ・雑草があると光・養水分競合を行うとともに病害虫の宿主になります。 									

現状を理解しサトウキビで儲ける

重要 単収向上のポイント

植付・培土

- ・採苗は必ず新植圃場から（株出栽培の圃場からは採苗しない）
- ・芽子がきれいな（硬化していない、芽子が伸びていない、黒変していない、虫の侵入痕がない）ものを使う
- ・密植（植付本数増加）により茎数を確保することで収量増加
- ・平均培土は植付けから60日以上経ってから
- ・平均培土時には必ず殺虫剤を土壌混和

管理

- ・ある程度大きくなるまでは雑草との勝負
- ・梅雨明け後には必ず灌水
- ・病害虫防除は先手を打ってこそ。害虫の出る時期を知ろう！

株出

- ・収穫したらすぐに管理を始める（萌芽を見てからの管理は確実に単収を下げる）
- ・管理方法は「株揃え・根切り・施肥・病害虫防除」が基本だが、葉柄をとるだけでもOK！
- ・株揃え or 葉柄を除去したら必ず『土壌処理剤』を散布
- ・畦間はなるべく早く中耕（間を置くと固くなる。ただし葉柄を巻き込みやすい）



※夏植え推進大会 小林 輝彦 氏（JAおきなわ農業振興本部さとうきび振興部特命営農指導員）講習会資料より抜粋

久米島製糖からのお知らせ

久米島製糖では製糖副産物のケーキ配布受付を行っております。久米島製糖より送付の申請書を記入のうえトラック協会（久米島実業社運送）へお申し込みをお願いします。

トラック協会（久米島実業社運送） ☎985-7900
久米島製糖 ☎985-2045

☆みんなで植えよう増やそう さとうきび
目標収穫面積 1200ha 単収 7.0 t

さとうきびの倒れこみ防止対策を！

さとうきびが道路や歩道にはみ出していると交通の支障となります。また、歩行者や通行車両との事故にも繋がります。植付時に畑と歩道の間隔（目安：1m以上）を空けるとともにロープ等で縛るなどの対策をしっかり行うようお願いします。



お問い合わせ 産業振興課 ☎985-7134